

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

#### 【研究課題名】

前立腺がん疑いで前立腺生検を受けた症例の後ろ向き研究

#### 【目的】

前立腺がんにおける化学予防（医薬品を用いてがんを罹ることを軽減すること）の確立は、前立腺がんの罹患率増加などの解決につながるとされていますが、現在確立された方法はありません。過去に実施された研究において、降圧剤ががん細胞の増殖抑制および抗腫瘍効果を持つことが報告されています。今回、過去に PSA 高値で前立腺生検を受けた症例での降圧剤内服状況やその他の臨床的因子と生検陽性率（陰性の場合はその後の PSA 推移や再生検結果など）について解析することを目的としています。

#### 【対象】

2015 年 12 月までに前立腺がんの診断を受けていない 20～85 歳の男性で、2016 年 1 月～2016 年 12 月に PSA 高値にて当院で前立腺生検を受けた方

#### 【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、調査票へ記載します。記載したデータはデータセンター（有限会社メディカル・リサーチ・サポート）へ郵送され、保管されます。その後、研究責任者や統計解析担当者によって解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

#### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

#### 【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、生年月、主訴、既往歴、家族歴、降圧剤服用の有無及び種類、育毛薬服用の有無及び種類、その他の薬剤名、降圧剤服用開始時期及び用量、臨床検査値、生検結果、腫瘍サイズ、転移巣の有無、臨床病期、病理診断結果、治療内容 等）

#### 【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから 2020 年 3 月 31 日まで

#### 【研究者責任者】

横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科 上村 博司

#### 【共同研究機関】

横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立大学附属病院、横須賀共済病院、藤沢市民病院  
横浜市立みなと赤十字病院、横浜南共済病院、神奈川県立がんセンター、国際親善総合病院  
横浜市立市民病院、茅ヶ崎市立病院、秦野赤十字病院、平塚共済病院、済生会横浜市南部病院、君津中央病院

#### 【当院の研究責任者】

泌尿器科 太田 純一

#### 【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56  
電話 045-331-1961（病院代表） 泌尿器科 太田 純一

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。